

意見交換会（平成 28 年 2 月 24 日開催）における意見と対応

1. 意見交換会の会場における意見等

	出された意見等	対応
1-1	音楽や伝統芸能に関する学部を美大に創設してほしい。	ご意見を斟酌し、その趣旨を総務常任委員会の要望事項とし、執行部に対して平成 27 年度 3 月定例会月議会にてお伝えしております。 なお、要望事項は別紙のとおりです。
1-2	美大の定員増を検討してほしい。	
1-3	高齢者が大学で学んだり、美大生と一緒にになって工芸に携わるようなことを、市や美大が企画できないか。	
1-4	金沢美大の学生が新しいものを生み出すことを助長できる教授陣の配置、充実を求める。	
1-5	優秀な人材が美大で生まれても、都会や世界に出て行ってしまふ。例えば電通や博報堂、グーグル級の企業を一つでも誘致できれば、美大のデザイン科を卒業した人たちが就職できるので、そういう企業を誘致してはどうか。	
1-6	①去年の意見交換会で、新幹線の騒音や振動や電波障害等に関して市議会議長が話をしていたが、その後どのような話し合いがされたのか。 ②北陸新幹線開業後、沿線住民は騒音により防災無線が聞こえないとか、眠れなくなっているという状態にあるが、それについて、議会でどのような把握をしているのか。 ③実際に国の環境基準を金沢市内で超えた地区はあるのか。また、それに対して、対策する予定はあるのか。	平成 28 年 2 月 8 日に開催された経済環境常任委員会において、金沢市環境指導課長から報告を受けております。 その報告の内容及び同委員会における当日の質疑と回答の抜粋は別紙のとおりとなります。
1-7	国から下りてくる地方交付税ではなく、課税者の出身地に応じて税が直接配分されるような制度を提案してほしい。	ご意見として受けとめさせていただきます。
1-8	金沢市は 4,500 億円、市民 1 人当たり約 100 万円の負債を抱えているが、返済する期間とその方法について検討してほしい。	ご意見として受けとめさせていただきます。

2. アンケートにおける意見等

	出された意見等	対応
《美大に関すること》		
2-1	支援作業所と美大がコラボして、作業者が楽しめ、その商品が店に並び、第三者機関が経営、運営する仕組みをつくってほしい。	ご意見を斟酌し、その趣旨を総務常任委員会の要望事項とし、執行部に対して平成27年度3月定例会議にてお伝えしております。 なお、要望事項は別紙のとおりです。
2-2	工学部跡地8ヘクタールの2分の1が県立図書館だとした場合、美大用地が4ヘクタールとなり、現在より狭くなる。多く確保できるように県と交渉してほしい。	

総務常任委員会 要望事項 (該当箇所抜粋)

1. (略)
2. (略)
3. (略)
4. 金沢美術工芸大学の金沢大学工学部跡地への移転に当たっては、クリエイティブな人材の育成に資するよう、施設の充実を図られたい。また、発表された「新キャンパス構想」に基づき大学の機能向上を目指すことや、市民と一緒に学ぶことのできる機会を創出するなどの市民からの声も取り入れた新たな大学運営の形を大学と共に検討されたい。

経済環境常任委員会記録（抜粋、要約）

1. 日 時 平成28年 2 月 8 日（月）
2. 開議時間 開会 午後 1 時 1 分 ～ 閉会 午後 2 時 49 分
3. 場 所 第 2 委員会室
4. 出席委員（7 名）下沢広伸委員長、麦田 徹副委員長
広田美代、前 誠一、松村理治、松井純一、
田中展郎の各委員

・北陸新幹線 鉄道騒音・振動の環境基準等達成状況について

・・・・・・・・松岡環境指導課長

北陸新幹線鉄道騒音・振動の環境基準等達成状況について報告する。

平成28年 1 月 26 日に環境省が北陸新幹線鉄道騒音及び振動に係る環境基準等の達成状況を公表しており、本市の状況について報告する。調査は、平成27年 9 月から12月にかけて行われ、県が環境省委託事業として実施をしている。市内の調査地点は 9 地点で、このうち測定結果の表の①梅田町、④百坂町、⑤柳橋町の 3 地点で、住宅地などの環境基準値70デシベルを超えており、環境基準が達成できなかったという測定結果になっている。

これらの地点については、今後、鉄道建設・運輸施設整備支援機構において防音対策工事を実施すると聞いている。また、本市としては、来年度以降、環境省にかわって環境基準の達成状況を調査するとともに、鉄道事業者等に対して騒音防止対策の実施を要請していく。

広田美代委員

新幹線の環境調査について 2 点聞く。

①この調査で梅田町、百坂町、柳橋町の 3 カ所の測定値が基準値を上回っているとのことで、市議会主催の意見交換会でも住民から意見が寄せられている。JRなどに騒音防止対策の実施を要請するとしているが、現時点で市として直接行っている対策があれば教えてほしい。

②新聞報道によれば先週金曜日に県・市・町の連合会議において、鉄道・運輸機構が防音対策の工事助成を個別に行うなどの発言があったとのことだが、そこではどのような説明を受けて、今後どんな助成制度になるのか。

松岡環境指導

①開業後 2 年間は鉄道・運輸機構が全て窓口となって苦情等へ

課長

の対応をしているため、市では現在、特別な対応はしていない。ただ、市に開業前を含めてこれまで4件苦情が入っており、鉄道・運輸機構に取り次いで対応を依頼している。

②金曜日に行われた県での説明会の内容についてだが、金沢市内で環境基準を達成していない3地点においては、防音壁のかさ上げ、音を吸収する吸音板の取り付け、レールを削る削井車両の走行などの対応をとり、個々の家で環境基準を超える状況であれば、家屋側に工事を行うという説明だった。新聞報道では助成という表現だったが、運輸機構側で費用負担するのではないかと考えている。なお、家屋側で対策を行う場合は、壁のひび割れの補修、サッシの二重化、エアコンの設置などを考えているという話であった。

田中展郎委員

北陸新幹線の騒音や振動に伴い、金沢市に4件苦情があったということだが、全体で何件ほど苦情があったのか。

松岡環境指導
課長

金沢市で聞いているのは4件である。鉄道・運輸機構に聞いたところ、富山と比べると金沢は苦情が少ないということだった。

田中展郎委員

全体で4件ということはないと思うが、苦情に対しては丁寧に説明してほしい。防音対策などについても、必要なら鉄道・運輸機構と相談しながら進めていってほしいと思う。

前誠一委員

北陸新幹線の騒音と振動だが、テレビ、特にBS放送の電波障害が若干あると聞いているが、実際に電波障害が出ているのか、また、その調査はしているのか。

松岡環境指導
課長

テレビの電波障害についても、鉄道・運輸機構が環境基準を達成していない地域周辺を一軒一軒訪ねて状況を確認しており、鉄道・運輸機構で責任を持って対応するということである。電波障害に関しては環境局以外に情報が入っているかもしれないが、現地を回った際に、地元の方からテレビの映りが悪くなったという話をたまたま聞いた。